

## お口のトラブルと対処法

### 急に歯が痛くなった!

急な歯の痛みは歯の神経の炎症や歯根の周囲に起きている炎症の可能性があります。放置すると痛みがひどくなる恐れがあるので、できるだけ早めに受診しましょう。それまで我慢できないような痛みがあれば、市販の鎮痛剤を使って痛みを抑えるようにしましょう。



### 歯茎が腫れた!

歯茎が腫れるのは、歯周病による炎症か歯根の周囲に膿が溜まっているかのいずれかであることがほとんどです。放置すると悪化、もしくは痛みが強く出てくる恐れがあるので、痛みがなくても早めに受診するのがよいでしょう。



### 歯が折れた!

硬いものを食べた時や、ぶつけた拍子に歯が折れてしまうことがあります。そんな場合、破片をくっつけられる可能性があるので、破片を生理食塩水(なければ牛乳)に浸して受診しましょう。なお自分で、接着剤でくっつけたりするのはやめましょう。



### 歯が抜けた!

歯をぶつけて抜けてしまった場合、早急に対処すればまた元の位置に戻せる可能性があります。抜けた歯を生理食塩水(なければ牛乳)に浸し、できるだけ早めに受診しましょう。歯が元の位置にうまくくっつくためには、「なるべく早めに対処する」、「抜けた歯の歯根部分を触らない」、「乾燥させない」ということが重要です。歯周病で自然に抜けてしまった場合は、もう周囲の骨がなくなっていますので、残念ながらもう元に戻すことはできません。



### 差し歯・詰め物が取れた!

外れてしまったものをくっつけ直せる場合もありますので、早めに受診することが肝心です。日にちが経ってしまうと、歯の位置がずれてしまったり、歯茎が盛り上がりにくつけられなくなることがあるので要注意です。また、外れた詰め物や差し歯を自分で、接着剤でつけるのは絶対にしないでください。接着剤をつけずにその場に戻しておくのも、また外れて飲み込んだりする恐れがあるのでやめましょう。



## 生えかわり時期の注意点

### 生えたての永久歯はむし歯になりやすい

生えたばかりの永久歯は、まだ表面が未成熟でむし歯になりやすいため、丁寧な歯みがき、フッ素入り歯磨き剤を使う、歯科医院でのフッ素塗布など、積極的にむし歯予防をしましょう。



### 乳歯のむし歯はしっかり治療

「乳歯は生え変わるからいいや」と乳歯のむし歯を放置しておくと、永久歯の歯質や歯並びに悪い影響を及ぼします。きちんと治療しましょう。



### 仕上げ磨きでサポートを

生え変わりの時期は小さい乳歯と大きな永久歯が混在して、歯が磨きづらく汚れがたまりやすくなります。自分で磨ける年齢であっても、仕上げ磨きが必要です。



### お口のチェックをしましょう

歯ぐきに炎症が起きたり、乳歯が抜ける前に横から永久歯が生えてきてしまうなど、歯や歯ぐきに様々なトラブルが生じやすくなります。保護者がこまめにチェックし、心配な時は受診しましょう。

